

「横浜市内での小児の外傷に関する調査研究（多施設共同研究）」への
アンケート調査協力のお知らせ

当センターでは横浜市立大学附属病院市民総合医療センター小児総合医療センターが代表となり、横浜市内で小児科入院施設を有する 11 の医療機関が参加している「横浜市内での小児における頭蓋内出血および大腿骨骨折症例の調査研究（多施設共同研究）」へのアンケート調査に協力しています。

本調査研究では、横浜市内の小児科基幹病院における 2 歳未満の頭蓋内出血症例、および 1 歳未満の大腿骨骨折症例の発生状況、およびその対応についての調査・解析を行うことを目的としています。アンケートの内容は、各施設での 2 歳未満の頭蓋内出血症例、および 1 歳未満の大腿骨骨折症例、それぞれの症例数、出血または骨折の種類、受傷場所や受傷機転、退院時転帰、その他の部位の骨折の有無、眼底所見、皮膚所見、血液・凝固異常の有無、院内会議への連絡の有無、児相通告・警察通報の有無、転院例については転院先、についての調査です。本アンケートの結果を解析することにより、各施設での小児外傷症例への対応法の問題点の抽出、および今後の小児外傷症例への対応の啓発活動につながると考えられます。